

履修コード/科目名称	213901 / 学習・発達論		
開講年度・期	2019年 前期	開講曜日・時限	木曜日 3時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	黒住 早紀子 (クロズミ サキコ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	<p>本講義では、教育心理学の基礎理論や知見を学び、教育実践の上で不可欠な人間発達・学習に関する理解を深める。発達・学習についての基礎理論に加えて、各発達段階の心身の多面的な発達に関して学び、それを踏まえた学習スタイルや主体的な学習を支える指導のあり方を考える。さらに、生涯発達に関して学び、障害をもつ人々の発達・学習支援といった問題にも触れる。</p> <p>受講者の理解を深めるため、リアクションペーパーを活用し、講義内容の理解度を毎回確認し、必要に応じて次回講義時にフィードバックを行なう。また、講義内容に応じ、疑似体験等の参加型学習を取り入れ、受講者の主体的な学びを促す。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>よりよい教育実践を考えるにあたっては、子どもの心身の発達及び学習の過程に関する理解が必要となるが、その際には人間に対する心理学的な捉え方が役立つ。心理学の様々な領域の中でも、特に教育心理学は、教育現場での効果的な実践を考える上で有用となる。本講義では教育心理学に関する基礎理論やさまざまな知見について扱う。受講者が、教育心理学を学ぶことを通して、乳幼児・児童・生徒の心身の発達及び学習の過程に関する基礎的な知識を得て、人間の発達・学習に関する理解を深め、各発達の段階における心理的特性を踏まえた効果的な学習指導を考える力を身に付けることを目標とする。</p>		
授業スケジュール	第1回	イントロダクション 教育心理学とは（教育、発達、学習の関係をめぐって）	
	第2回	発達に関する基礎理論（発達の規定要因、発達段階と発達課題）	
	第3回	身体・運動、認知、パーソナリティの発達	
	第4回	言語、情動、社会性の発達	
	第5回	生涯発達	
	第6回	記憶と忘却	
	第7回	学習に関する基礎理論（連合説と認知説）	
	第8回	学習への動機づけ	
	第9回	学級集団と学習	
	第10回	学習の評価	
	第11回	教授法、学習法と学習スタイル	
	第12回	知能	
	第13回	障害のある幼児・児童・生徒の発達と支援	
	第14回	人間の欲求と防衛機制（よりよい教育実践を考えるために）	
	第15回	まとめ・理解度の確認テスト	
準備学習	特に指定しませんが、ご自身で授業テーマに関する文献等を調べ、目を通してから授業に臨むと理解がしやすくなります。		
履修上の留意点等	初回の授業で、本講義を履修する上での注意事項やレポート・試験等について説明するため、必ず出席すること。初回欠席者は、基本的に履修を認めません。		
成績評価の方法	50 %	試験	
	50 %	レポート	
		小テスト	
		平常点	

	<p>リアクションペーパーの内容も成績評価に加える場合があります。 出席が基準に満たない場合は、単位の取得ができませんので、ご注意ください。</p>
教科書/テキスト	特に使用しません。授業時に資料を配付します。
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	授業中に適宜紹介します。
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	リアクションペーパーに対するフィードバックが好評だったので、引き続き取り入れていきます。リアクションペーパーを書く時間が足りないという指摘があったので、十分に時間が確保できるように工夫します。
関連リンク	
実務経験がある教員による授業科目	